



半田っ子通信

<令和3年度最終号>

桑折町立半田醸芳小学校だより

令和4年 3月23日 No.50

文責 校長 遠藤 和宏

<重点目標> 夢に向かって突っ走れ！ 努力できる子 半田っ子

ご卒業おめでとうございます！

卒業生のみなさん、そして保護者の皆様。本日はご卒業おめでとうございます。今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、多くの行事が中止や延期になる大変な1年でしたが、前向きな気持ちで活動してきましたね。本当によく頑張りました。そして、登校班や縦割り清掃、委員会活動など、普段の生活の中でも常に先頭に立ち、下級生をまとめてくれて、ありがとうございました。4月からは下級生が皆さんを引き継いで、立派な半田醸芳小にしてくれると思います。中学校でも頑張ってください。皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。



今年開催された北京オリンピック。特に心に残ったのが、男子フィギュアスケートです。日本からは3選手が出場し、鍵山選手が銀、宇野選手が銅メダルを獲得しました。一方、3連覇を狙った羽生結弦選手はSPの冒頭で4回転サルコーを失敗し、8位と大きく出遅れてしまいました。今回、羽生選手は、フリーで誰もが成功していない4回転アクセルに挑戦することを公言していました。しかし、12月の全日本選手権でも成功しておらず、もし失敗すればメダル獲得は難しくなります。無理に4回転アクセルを跳ばなくても、羽生選手なら他の技でも高得点は期待できるので、メダルに手が届くでしょう。羽生選手はどちらを選んだのか。メダルか、挑戦か。そうです、果敢に4回転アクセルに挑戦したのです。結果は、回転不足に転倒もあり、結局4位に終わりましたが、世界で初めて「4回転アクセル」が認定されたのです。



「4回転アクセルを目指す。これからちょっとだけ自分の人生をスケートにかけたい。」4年前にこう宣言した羽生選手は、この前人未踏のジャンプを形にするため、血のにじむような努力をしてきました。孤独でつらい練習だったでしょうが、それでも頑張れたのは、子供の頃、「王様のジャンプ」と言われるアクセルジャンプに憧れ、いつかは4回転を跳ぶんだと夢を追い続けてきたからなのでしょう。こうして夢に向かって挑戦し続けた羽生選手は、見事歴史に名を刻んだのです。夢は思うものでなく、叶えるものです。皆さん、中学校に進学しても、羽生選手のように、夢に向かって突っ走ってください。皆さんは、それができる半田っ子なのです。

2 2 日には修了式が行われました

皆さんはこれまで、半田醸芳小学校の教育目標である「考える子、思いやりのある子、たくましい子」、そして重点目標である「夢に向かって突っ走れ！努力できる子半田っ子」を目指して、一生懸命頑張ってきました。

例えば、徹底反復練習を一生懸命続け、百マス計算が速くなったり、たくさん漢字が書けるようになったりしました。家庭でも学習を頑張り、自学ノートが何冊にもなりました。タブレットの使い方がとても上手になった人もいますね。二言あいさつがしっかりできる人も増えました。児童会委員会では、上学年のお友達が、学校のために一生懸命仕事をしてくれました。毎朝マラソンを頑張り、カードが何枚にも増えました。持久走記録会やなわとび記録会に向かって練習を続け、たくさんの方が自己ベストを出しました。3～4年生の皆さんは、半田銀山祇園ばやしの練習を頑張り、素晴らしい演奏を披露してくれました。先週は「夢いっぱい賞」の表彰式があり、たくさんのお友達が表彰されました。このように、皆さんの頑張りがたくさん見られた1年間でした。校長先生もとてもうれしいです。

皆さんの頑張りのおかげで、半田醸芳小はどんどん素晴らしい学校になっています。来年度も「根気強く、あきらめず、高い目標にチャレンジ」していきましょう。そして、半田醸芳小学校をもっともっと盛り上げていきましょう。



明日から春休み

3月24日（木）～4月5日（火）、次の学年に進むための準備があると思います。事故や病気には十分気をつけて過ごしてください。5年生には25日、教室移動作業のお手伝いをお願いします。

4月6日、また元気な顔を見せてくださいね。来年度の活躍を楽しみにしていますよ！

保護者の皆様には、1年間大変お世話になりました。ホームページや学校だよりで情報を発信してまいりましたが、皆様のお役に立てば幸いです。来年度も、子供たちのため、地域のため、よりよい学校運営を目指してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。